



汚いお金

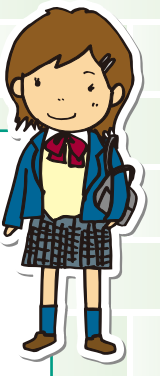
東京都・中央大学高等学校 3年 前田 綾香

私は去年の12月に近所のガソリンスタンドでアルバイトを始めた。遊ぶためのお金、大学に向けての蓄えがほしかったからだ。アルバイトを始めた当初はバイト代が入ったら、思う存分使おう、服やゲームをいっぱい買おうと意気込んでいたが初めての給料が入って、通帳を見た時にその気持ちはなくなった。ガソリンスタンドは年末が一年のうちで一番忙しく、新人もみんな毎日のように朝から夜までシフトに入り、何時間も働いた。時給は900円。だから初めての給料は多額であった。新人だった私は洗車やレジ打ちぐらいしかできず、もらった金額分の仕事ができなかったかとは自信がなかったが、初めて、働いてお金をもらって、そのお金を使うという行為の重みを感じた。今までは親が稼いだお金を何のありがたみも感じずに使っていた自分を反省した。自分へのご褒美一つと、母へのプレゼントだけ買ってあとは、交通費や食費以外には使えなかった。

次の月から私はもらう金額に見合う仕事をしなければならないと思い、車の事や、会社で使われるカードの事をたくさん勉強した。そして初めて自分で販売をしてメンテナンス料金をお客様から頂いた時、何とも言えない嬉しさがこみ上げた。自分が会社の利益にほんの少しだが貢献できたのだ。またこの月、初めてバイト先の会社が運用するクレジットカードのお勧めに成功し、お客様からカード契約を頂いたのだ。その時も嬉しくて夜も眠れなかった。自分が新たなお金の動きを作った気がして興奮した。アルバイトでさえもこんな経験ができるのだから、将来、就職してもっと大きな仕事をしたら、もっと大きなお金の流れを自分が作る事ができるのではないかと思って早く就職したくなった。その月の給料が入った時、金額は前月とあまり変わらなかったが、さらにお金の重みを感じた。

こうして大人からの「お金は大切なんだよ。」という言葉からじゃ全く分から





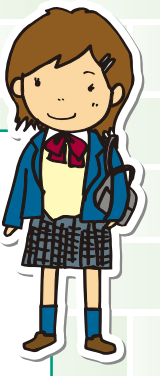
なかったお金の大切さをアルバイトを通して実感した。

私がお金を使うという行為に至るまでには長い長いプロセスがあり、その中で様々な人の動きが関係しているという事を私はアルバイトをして学んだ。今までの親からお金をもらって使うという単純なプロセスがもっと複雑なものへと変化した。お客様からガソリンを売ってお金を頂く、そのお金が会社に入り、会社から給料が口座に入り、そこから私が引き出し、使う。その最初のお客様がお金を使うまでも同じようなプロセスがあり、それがエンドレスに続く。それは世界中を巻き込む流れだ。もしかしたらその流れが私に戻ってくることもあるだろう。そう考えると1分働く事、1リットルのガソリンを売る事、10円のお菓子を買う事さえも重大な事のように思えるようになった。

お金の動きには目に見えるものも見えないものもあるが、どちらも人が関わっている事には変わらない。私が車やカードの事を勉強したり、お客様に販売するためのトークを学んだように、誰かが考えたり苦労したりした結果のお金が回っているのだろう。私はその事を忘れてはいけないと思う。働いたら誰もがきっと分かる事なのだろうけれども、そんな事をずっと考えながらお金を使っている人はほとんどいないだろう。私も普段はあまり意識しない。でも、コンビニや学食でお金を払う際にお金を見ながらそんな事をたまに考えてみようと思う。

またこの事をまだ働けない子供に教えるのは大変難しい。私の兄が幼い頃のこんなエピソードがある。おもちゃを買ってほしいと母に兄がせがんだ時、母はお金がないから買えないと言ったそうだ。すると兄は「銀行行けばいつもお金もらえるじゃん。」と母に言ったそうだ。確かに目に見えない形によって口座に振り込まれたお金を引き出している姿は子供の目から見たら銀行からお金をもらっているようにしか見えないだろう。目に見えないお金のやり取りはこのような勘違いを生み、お金の大切さ、価値を子供に教えることを難しくする。そこで親がむやみに小遣いを与えて、またもらえるものだと思ってお金をむやみに使うようになってしまったら危険である。本当のお金の大切さは正直、働いてみた人にしか分らないと思う。しかし伝えられる限り伝えなければ、どんな危険な事が起こるか分らない。ただ、お金は大切なのだと教えるのではなく、理解するのは難しいかもしれないが、お金を手に入れるには働かなければならない事や、手に入るまでにいろいろな人の考えや苦労の詰まった





お金なのだという事をきちんと教えなければならない。

「お金は汚い」とよく聞く。でもそれは間違っていると思う。きれい、汚いの前にお金がないと生きていけないのだ。お金が汚いのではなくお金に執着して、本来のお金の動きを狂わせる人が汚いのだ。また、物理的に多くの人に触るので汚れや細菌で汚いという意味もある。それは当たり前だ。お金は多くの人に関わりにおいて流れているものだからだ。お金が物理的に汚くなっていくのは良いことだと思う。それだけ多くの人に流れているという事だからだ。

お金の流れには沢山の人の苦勞、努力、汗が関わっている。その事を忘れずに「汚い」お金とともに生活していきたいと思う。

